



2024年 3月280号

# ふるさと

## グループホームあじさい園



### アナタ ポリビア

奈良県出身の秋元広行氏率いるANATA（アイマラ語で祭りという意味）という名前のポリビアを代表するフォルクローレグループのコンサートにご招待いただきました。秋元氏は23才の時、フォルクローレ音楽にみせられ、単身ポリビアに渡られました。その時ご両親には「一年間ポリビアに行ってください」と言われて日本を離れ、6年後にやっと一時帰国、お父様からはポリビアの一年はずいぶん長いのだなあと驚かれたそうです。23年間フランス在住の間、大統領のための演奏会、世界で活躍し日本を発信する日本人63名に選出されるなど、世界最高峰の平和の都ラパスで結成されたアナタポリビアは、今ではポリビア文化推進の功績を讃えられるグループです。

ポリビアは南米、ブラジルのお隣、国土は日本の3倍、そのうち3分の1が高いところ、3分の2がアマゾン川流域の熱帯。アンデス山脈標高3800mの首都ラパスがどれ程空気が薄いかというところ、口を閉じさらに左の鼻の穴を閉じ右の鼻の穴だけで呼吸している感じだそうです。

バンドメンバーは、6名10弦のチャランゴ、サンポーニャは大小とあり、それぞれポニョ、チュリ、マルタと呼び、たて笛のケーナは黒炭できていて、たいこのボンボはやぎの皮です。ベースやドラムもあり、秋元氏はギターとボーカルです。

高ラパスの人々は肺活量がおどろきで、少しの酸素でも長く笛を吹くことができます。20曲の演奏のうち半分以上は秋元氏の作詞作曲でポリビアの大自然や愛や花を表現、又、ケーナやサンポーニャのための曲もありました。もちろんフォルクローレで有名なコンドルが飛んでいくや、花祭りも演奏され、ポリビアの民族楽器の、やさしさとたくましさをおねぞなえたフォルクローレの澄んだ音色が心に染み入り感動いたしました。

ポリビアの医療はせい弱であるため、コロナ感染症により多くの国民が亡くなられたとのこと。亡くなられた方も残された方も皆、幸せな時間、一緒に過ごした時間を忘れないでほしいという願いで「忘れないで」という曲も復興のひびきとして演奏されました。フォルクローレにある地球の真裏のアンデスの人々の愛や伝統、魂、そしてアナタ（祭り）の心を音楽を通して知ることができました。このような機会をいただきありがとうございます。

### 3月の行事予定

- 3日（日）ひな祭り
- 12日（火）運営推進会議
- 15日（金）お楽しみ会

※塩田医師の定期往診もあります。  
あじさい園のホームページもご覧ください。



### 鬼襲来！節分祭

今年も赤鬼がやって来ました！大騒ぎの中  
大玉を投げて鬼は外〜♪  
中庭へ向けても本物の豆を投げ無病息災を  
祈願しました。



### 2月11日 お誕生日会



2月生まれの小寺様・城野様のお誕生日を皆さまでお祝いしました。綺麗な飾り付けを背景に記念写真を撮り、歌のプレゼントを贈りました。その後はお待ちかねのケーキをいただき歓談の時間を過ごしました。



### のり弁を注文しました

お弁当屋さんののり弁を皆様に召し上がっていただきました。大きなフライも付いており意外とボリュームがありました♪

